

4/ 23

(木)

契約の血

出エジプト記二四章

そこで、モーセは血を取り、民の上に振りかけて言った。「これは、主がこのすべての言葉に基づいてあなたがたと結ばれる契約の血である。」(8)

イスラエルの民が神と契約を結ぶ場面です。祭壇を築き、雄牛の犠牲をささげる際、その血をとって半分を祭壇に注ぎ、残りの半分を民に注ぎかけました。祭壇に注ぐ行為は神に注ぐことを意味しており、契約の当事者である神とイスラエルの双方に血を注ぎかけて、契約が成立したことを表明したのです。「これは、主がこのすべての言葉に基づいてあなたがたと結ばれる契約の血である」。この言葉は、主イエスが最後の晩餐の席で新しい契約を結ぶ際にもう一度語られています。「これは、罪が赦されるように、多くの人のために流される、私の契約の血である」(マタイ二六28)。主イエスの十字架の血によって、神は私たちと永遠の契約を結んでくださいました。私たちはキリストの血による契約の民です。この契約のゆえに、私たちの救いは確かなものとされているのです。